

教科(科目)	芸術(書道)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修(音楽・美術・書道より選択)
単位数	商業科 2単位 食物科 2単位 生活文化科 2単位 福祉科 2単位	教科書	新編書道 (教育出版)
		副教材	
科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の関連や違い、古典を臨書・鑑賞する意義について理解させる。 ・用筆・運筆法・結構法を習得させ、多様な美を体感させることにより、書に関心を持たせる。 ・学習した技法を基礎に創作活動をさせ、書の効用や表現を理解させる。 		

進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	書道の学習を始めよう	先輩たちの作品を鑑賞しながら芸術科(書道)について理解する。	授業観察 プリント	書体の変遷の過程を理解している。 生活の中の書について関心を持つ
5	漢字仮名交じりの書(1)	さまざまな表現を工夫しながら、自分なりの表現を求める姿勢を身につける。 生活の中の書を再認識し、その意義や効果を考える。	提出作品	
6	漢字の書 楷書	漢字の歴史の変遷を理解する。 臨書による古典学習の基本を身につける。 九成宮醜泉銘 孔子廟堂碑	授業観察 古典鑑賞プリント 作品提出 自己評価 相互評価	毛筆の特質を理解し、基本点画を書くことができる。 人物・時代・書風について理解している。 それぞれの書の美を鑑賞し、臨書できる。 楷書の成立過程と唐の四大家について把握している。 感性を働かせ創造的に表現を工夫している。
7		建中告身帖 雁塔聖教序 建中告身帖 牛欄造像記 創作作品をつくる		
期末考査				
9	漢字の書 行書	行書の特徴を知り、行書の成立について正しく理解する。 鑑賞と臨書を通して行書の基本的な表現技法を習得する。 蘭亭序 争坐位稿 風信帖	授業観察 プリント 古典鑑賞プリント 作品提出 自己評価 相互評価	行書の特徴を理解している。 古典の用筆・運筆法・字形の特徴を理解している。 人物・時代・書風について理解している。
10	漢字の書 篆書 篆刻 隸書	篆書の筆づかいの特徴を理解する。 篆刻の技法を習得する。 篆刻のよさや美しさを感じ、自分の印を彫る。 隸書に興味を持ち表現技法を高める。		
11	漢字仮名交じりに書(2)	カレンダーの作品制作 用具用材による表現の効果を考える。 紙面構成を考える。	授業観察 創作カード 作品提出	多様な表現ができる。 用具用材の工夫をしている。 仮名の基本的な技法が身に付いている。
12	仮名の書	仮名の成立と仮名の種類について理解する。 仮名の基本的な筆づかいを身につける。		
期末考査				

1	仮名の書	古典の臨書をとおして仮名の技法を身につける。 高野切第三種	授業観察 古典鑑賞プリント	名筆をとおして日本の伝統的な書の美を感じている。
2	硬筆	便せんの書式，八ガキ，封筒の書式，実用の書を整理に配置よく書くことができる。	作品提出 自己評価 相互評価	手書きのよさについて考え伝統的な書式を生かし整理に配置よく書くことができる。
3	創作	漢字の書，漢字仮名交じりの書，仮名の書の中から一つの表現方法を選び，創作作品をつくる。		明確な制作意図をもち、主体的・意欲的に創作活動を行うことができる。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度

書を愛好し，意欲的，主体的に表現や鑑賞の活動を行い，その喜びを味わおうとする。

芸術的な感受や表現の工夫

感性を豊かにし，書のよさや美しさを感じ取り，自らの意図に基づき構想し，表現を工夫する。

創造的な表現の技能

創造的な表現をするために，書写能力を高め，用具・用材を生かした表現の技能を身につけている。

鑑賞の能力

日常生活における書の効用や日本および中国等の文化を理解し，そのよさや美しさを深く味わう。

「書道」の総合評価における各観点の割合

関心・意欲・態度	30%程度	芸術的な感受や表現の工夫	20%程度
創造的な表現の工夫	30%程度	鑑賞の能力	20%程度